

大企業のユーザー部門に、中核業務変革の主導権を取り戻す。



採用資料 — Forward Deployed Engineer

課題認識

エンタープライズITには、 構造的なねじれがある

本当に困っているのはユーザー部門。しかし、意思決定の構造がそれを許さない。

問題 1

意思決定の分離

本当に業務を使い、痛みを持つユーザー部門ではなく、システム部門・調達部門が予算と発注権を握っている。

問題 2

間接化による劣化

ユーザーの本当の痛みは、システム部門やSIを経由する過程で二次情報化される。要件は薄まり、本当に欲しいものから遠ざかる。

問題 3

空白市場

市民開発では中核業務に届かない。SIは重く遅い。ユーザー部門が自ら中核業務のシステム化を主導する選択肢がなかった。

原体験

なぜ、PortXを作ったのか

日本のSI産業の構造的な不

日本のSI産業は、多重下請けのゼネコン構造になっている。

元請けが受注し、二次請け、三次請けへと流れる過程で、現場の要件は薄まり、管理コストは膨らみ、品質は劣化する。

そして、この構造の中で一番悪くないのに一番困っているのが、ユーザーである。

本当に業務を知り、本当に変革を必要としているユーザーが、構造の末端で結果だけを受け取る側に置かれている。

PORTXが目指す世界

ユーザーに直接価値を届け、ユーザー自身が「これを変えたい」と主導してシステム化を進められる世界を作る。

多重下請けのゼネコン構造を経由せず、ユーザー主導でSIプロジェクトが成立する。

その基盤が、Formulaです。

MISSION

大企業のユーザー部門に、
中核業務亦甚の主導権を取り戻し、
競争優位そのものを実装すること。

PortXが変えたいのは、単なるシステムの中身ではなく、
誰が変革を主導するかという構造そのものです。

中核業務の痛み、必要な変化、誰が価値を出しているかを
最も理解しているのはユーザー部門。本来、そこが主導すべきである。

WHY NOW

なぜ、今この市場が動くのか

エンタープライズSI市場は30年間、構造が変わらなかった。それが今、初めて変わる条件が揃った。

変わらなかった理由

要求言語化、仕様構造化、設計書作成、変更影響追跡、運用接続——

SIを成立させる知的作業のコストが高すぎた。だから大量の人手が必要で、間接構造が必然だった。

LLMが壊した壁

LLMはこの知的作業を10分の1以下のコストで代替可能にした。

ただし、LLM単体ではコード断片を生成できるだけで、SIとして成立しない。

FORMULAが埋めた空白

LLMの能力を、要求整理から設計・実装・変更管理・運用接続まで一貫した実務基盤に変換。

ユーザー主導のエンタープライズSIが、初めて成立可能になった。

一言で言うと：LLMがSIの知的作業を低コスト化し、Formulaがそれを実務として束ねたことで、30年動かなかった市場構造が初めて動く。

FORMULA

SaaSでは解けない中核業務の課題を、 フルスクラッチ並みの自由度で、 SaaSのような体験で実現する

AIネイティブなエンタープライズSI全般。

Formulaの本質は「AIがコードを書くこと」ではなく、
「AIがエンタープライズSIに必要な知的作業と成果物を一貫して成立させること」にあります。
SIの要件を満たしたまま、SIの勝ち方そのものを作り変える。それがFormulaです。

FORMULAの仕組み

Formulaは何をカバーしているのか

単なるAI開発ツールではなく、SIプロジェクトの全工程を一貫して支える基盤です。

<p>01</p> <p>要求整理</p> <p>曖昧な会話やメモから要件を構造化</p>	<p>02</p> <p>設計</p> <p>spec.mdを正本として設計と実装を一致</p>	<p>03</p> <p>動くToBe生成</p> <p>営業段階から動くモックを提示</p>	<p>04</p> <p>実装</p> <p>AIが設計書からコード・APIを自動生成</p>	<p>05</p> <p>変更管理</p> <p>変更影響を構造的に追跡・把握</p>	<p>06</p> <p>運用接続</p> <p>保守・引き継ぎ・運用AI Agentへ発展</p>
--	---	--	--	--	---

spec.md = 人もAIも読める設計の唯一の正本。ここから画面、データ、API、設計書を自動派生させることで、「設計と実装がズれる」「どれが最新かわからない」「引き継ぎが伝言ゲームになる」という従来SIの構造問題を根本から解消しています。

Formulaの設計思想

なぜMarkdown駆動・Spec-Drivenなのか

Formulaの設計判断は、3つの原則に基づいています。FDEとして働く上で、これに共感できることが重要です。

原則 1

資料は必ずテキストナイズ

全ての成果物はMarkdown形式で管理する
(Excel禁止)。

git管理可能・差分が見える・AI読み書き可能・
人間も読める。これが全ての基礎。

原則 2

Claude Code経由で管理

タスク・成果物の作成・更新はClaude Codeを通
じて行う。

AIと人間の協働を前提にした開発プロセスを、ツ
ールチェーンレベルで実装している。

原則 3

反復作業はコマンド化

繰り返し発生する作業はSkill / Hookとして自動
化。

同じ作業を2回やった時点で、それは仕組み化の
対象。手作業を残さない。

Vibe Codingとの根本的な違い：Vibe Codingは「コードを書く」ことだけをAIに任せる。Formulaは仕様書（spec.md）を中心に置き、要求整理・設計・実装・変更管理・運用保守までSIプロジェクト全体を成立させる。コード生成は結果であって、目的ではない。

Formulaのアーキテクチャ

spec.mdから全成果物が派生する成果物チェーン

FDEが触るのはspec.md群だけ。下流の生成物は全て自動派生します。

上流 - FDEが書く

spec.md (仕様書群)

workflow.md 業務フロー

view.md 画面仕様 (項目・レイアウト・イベント)

entity.md DB定義 (テーブル・制約・シード)

api.md API定義 (入出力・データソース)

下流 - 自動生成、直接触らない

生成される成果物

.svelte SvelteKit画面コンポーネント

.ts Supabase Edge Function (Deno)

.sql PostgreSQL Migration + Seed

エビデンス スクショ + 動作検証レポート

FRONTEND

SvelteKit (Svelte 5)

画面はDESIGN.md準拠で生成

BACKEND

Supabase Edge Functions

Deno + PostgreSQL

AI ORCHESTRATION

Claude Code

Skill / Hookで反復を自動化

BUSINESS MODEL

どうやって勝つのか

broad vision × narrow entry。ビジョンは広く、市場への入り方は狭く深く。

市場への入り方

Narrow Wedge

「全ての業務を変えます」ではなく、現場責任者が自分事化できる狭く深い業務痛から入る。

例：在庫の実態把握、納期回答のベテラン依存、受注・配車の電話と再入力、需給調整の属人化

デリバリーの構造

一気通貫

要求整理から設計・実装・運用まで分断しない。ユーザーと直接向き合い、Formulaで一貫して届ける。

多重下請けの間接コストがないため、高品質かつ高粗利のデリバリーが可能

競争優位の源泉

複利化

案件のたびに、要求整理の型・業務パターン・見積・WBSが会社資産に戻る。次の案件を速く・深く・高利益率にする。

一件ごとに消費される会社ではなく、案件のたびに会社そのものが強くなる構造

表側はnarrow wedgeで顧客の業務痛に入り、裏側ではFormulaとデリバリー基盤を共通化する。これがPortXの勝ち筋。

FDEの役割

FDE（Forward Deployed Engineer）が担うこと

PortXのFDEは「コードを書くエンジニア」ではなく、顧客の競争優位そのものを設計する仕事です。

本質的な役割

競争優位の設計を担う

顧客の業務を深く理解し、何が競争優位に繋がるかを設計する。

設計内容をFormulaのインプット（仕様書）に落とすところまでが、FDEの責任範囲。

システム設計・実装・運用以降は、Formulaが自動で担います。

具体的にやること

- ① 現場・経営層へヒアリングし、現状業務を整理
- ② どのプロセスに問題があるかを特定
- ③ ありたき姿と効果の刈り取り方を顧客と一緒に描く
- ④ 競争優位に繋がる業務設計を仕様書（spec.md）に落とす
- ⑤ Formulaが生成した動くシステムを顧客と検証・磨き込み

FDEの存在意義

AIが進化しても、なくなる仕事

「AIが全部やる時代に、エンジニアの仕事はなくなるのか？」——PortXの答えは明確です。

AIで代替される領域

システムの設計・実装・運用

- ・業務フローをシステム設計に変換
- ・画面・DB・APIを自動生成
- ・変更要求を構造化し一括反映
- ・テスト・エビデンス取得を自動化
- ・運用保守・問い合わせ対応を支援

これらは全てFormulaが担います。

人間にしかできない領域

競争優位の設計

- ・顧客の業務を深く理解する
- ・何が競争優位に繋がるかを特定する
- ・ありたき姿を構造化し、顧客に提案する
- ・効果の刈り取り設計と説明責任を持つ

「在庫管理したい」だけでは味のしないシステムしかできない。何を達成し、どこで効果を刈り取るかを設計するのは人間の仕事です。

5段パイプラインとDeltaスタック

FDEが日常的に使う5つのコマンド

業務シナリオから動くシステムまで、5つのスキルで一気に通貫に処理します。

<p>/workflow</p> <p>業務シナリオを構造化</p> <p>対話モデリング or シナリオ解析。actors / screens / flow を抽出してworkflow.mdに。</p>	<p>/generate</p> <p>spec.md骨格を生成</p> <p>workflow.mdから全画面のview.md骨格をspec-schema準拠で一括生成。</p>	<p>/change</p> <p>日本語の変更要求 → Delta</p> <p>「検索条件に部署を追加」等を構造化Delta YAMLとして.tmp/deltas/に蓄積。</p>	<p>/sync</p> <p>全成果物に一括反映</p> <p>Delta読み込み → api.md / .svelte / .ts / .sql / Seedまで整合性チェック付きで反映。</p>	<p>/evidence</p> <p>検証・エビデンス取得</p> <p>DB検証 + API全件検証 + Playwrightで画面SS取得。HTMLレポートに自動出力。</p>
---	---	---	---	--

DELTA STACK - 変更のバッファ

/changeで蓄積されるDelta YAMLには **intent** (原文の変更要求)、**changes** (変更タイプ)、**impacts** (下流への影響分析) が含まれる。複数の変更をまとめて/syncで一括反映できる。

/SYNC の整合性チェック

view.mdの出力バインドとapi.mdカラム定義を突合し、項目ID / 項目名 / src (snake_case) の不一致をエラーとして検出。仕様と実装の構造的乖離をパイプラインレベルで防ぐ。

FDEに求める人物像

こんな方を探しています

技術力よりも、顧客の業務から「競争優位の源泉」を抽出する力を最優先しています。

最も重要

業務構造を抽出する力

顧客ヒアリングから業務の構造を見抜き、何が競争優位に繋がるかを設計に落とせること。

「コードが書ける」だけでは足りません。

大事

技術への信頼と実装力

spec.md駆動の開発手法に共感できること。
SvelteKit / TypeScript / PostgreSQL の基本的な経験。Claude Codeを使いこなす意欲。

大事

構造を変えたいという意志

「価値を作る側が勝てず、看板と発注権を持つ側が勝つ」エンタープライズITの構造を変えたい意志を共有できること。

求めないもの：大規模システムのフルスクラッチ経験、特定言語のマニアックな知識、競技プログラミング的な能力。

必要なのは、顧客と一緒に業務を整理し、ありたき姿を描き、仕様書に落とせる力です。

募集要項

Forward Deployed Engineer (FDE) 募集要項

所属部門：Value Delivery Division / Formula Platform Division

役割	顧客の業務を理解し、競争優位の設計をspec.mdに落とす。Formulaが生成した動くシステムを顧客と一緒に磨き込み、本番運用まで伴走する。
必須要件	業務システムの開発・要件定義経験 / 顧客ヒアリングから業務構造を抽出した経験 / Webアプリケーションの開発経験 / A00（会社の中核原則）への共感
歓迎要件	SvelteKit / TypeScript / PostgreSQL / Supabase / Claude Codeの経験 / 製造業・物流業の業務知識 / SI・コンサル経験
使う技術	SvelteKit / Supabase Edge Functions (Deno) / PostgreSQL / Claude Code / Git / Markdown駆動の独自パイプライン
想定年収	800万～1,800万円（経験・スキルに応じて応相談）
勤務形態	フルリモート可（顧客訪問あり） / フレックスタイム制

会社概要

会社名 株式会社PortX / PortX Inc.

代表者 石田 寛成

資本金 1億円（累計調達金額7.2億円）

設立 2019年12月6日

本社 東京都新宿区新宿2-5-12 FORECAST新宿AVENUE 6F

事業 大手製造業向け DXサービスの提供

WORKING ENVIRONMENT

はたらく環境

はたらき方

- フレックス制度（コアタイム 10:00-15:00）
- 完全週休2日制（土・日）
- 祝日 / 年末年始・夏季休暇
- 有給休暇
- 慶弔休暇
- 育休・産休 ほか
- 出社・在宅併用可

福利厚生

- 各種保険完備
- 交通費支給（上限3万円 / 出社が発生する場合）
- 婦人科検診費用負担
- インフルエンザ予防接種
- 書籍購入費補助（業務目的 制限無し・自己啓発 2万円/年）
- 入社時特別休暇（3日）
- リモートオフィス制度（5,000円/月）

エンタープライズITの構造を、 一緒に変えませんか。

PortXは、価値を作る側が正しく勝てる世界を作るために、
同じ志を持つ仲間を探しています。



お気軽にご連絡ください